

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団員協力事業所表示制度事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	吉野 康雄			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防団へ協力している事業所	意図	消防団員が入団しやすく、かつ活動しやすい環境を整備し消防団組織の充実を図る。
事業内容	複数の従業員が流山市消防団へ入団している等、消防団に対して多大な貢献をしている事業所を認定し表示をする。			
事業開始から現在までの状況変化	平成19年9月1日に「流山市消防団協力事業所表示制度」を制定し市内の事業所に対して消防団への勤務の便宜や従業員への入団促進等、消防団への協力を求め表示証を交付しているものである。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	消防団協力事業所新規認定箇所	0	0	0	
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度	これまで延べ9事業所を認定しているが、市内には複数の従業員を消防団に入団させることのできる大きな事業所が少ない。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		717,800	698,700	690,927			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		717,800	698,700	690,927			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	消防団の必要性を積極的に広報する。	③取り組みの課題	消防団に入団していることを会社に報告していない団員もいる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	新規認定事業所0箇所	④今後の改善計画	従業員が就業中に消防団活動に従事することへの理解が必要。